

地区防災計画制度の概要



令和3年11月6日

内閣府 防災担当 普及啓発・連携担当



国民一人ひとりが
主体的に取り組む

自助

「自らの命は自らが守る」

地域で互いに助け合う

共助

「地域住民で助け合う」

連携が重要

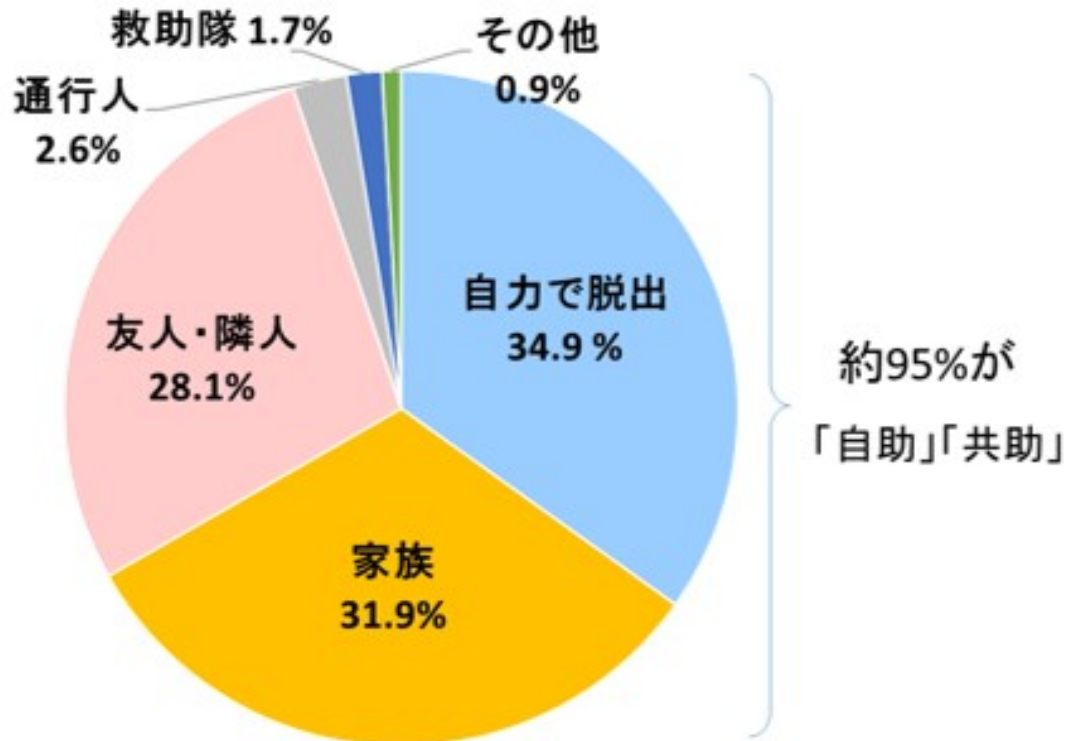
公的な支援等である

公助

自助・共助の重要性①（阪神淡路大震災における事例）



阪神・淡路大震災において、生き埋められ閉じ込められた際に誰が助けてくれたか



出典：平成26年版「防災白書」より引用。

阪神・淡路大震災における救助の主体と救出者数



出典：平成28年版「防災白書」より引用。

自助・共助の重要性②（令和2年7月豪雨の被災地における事例）

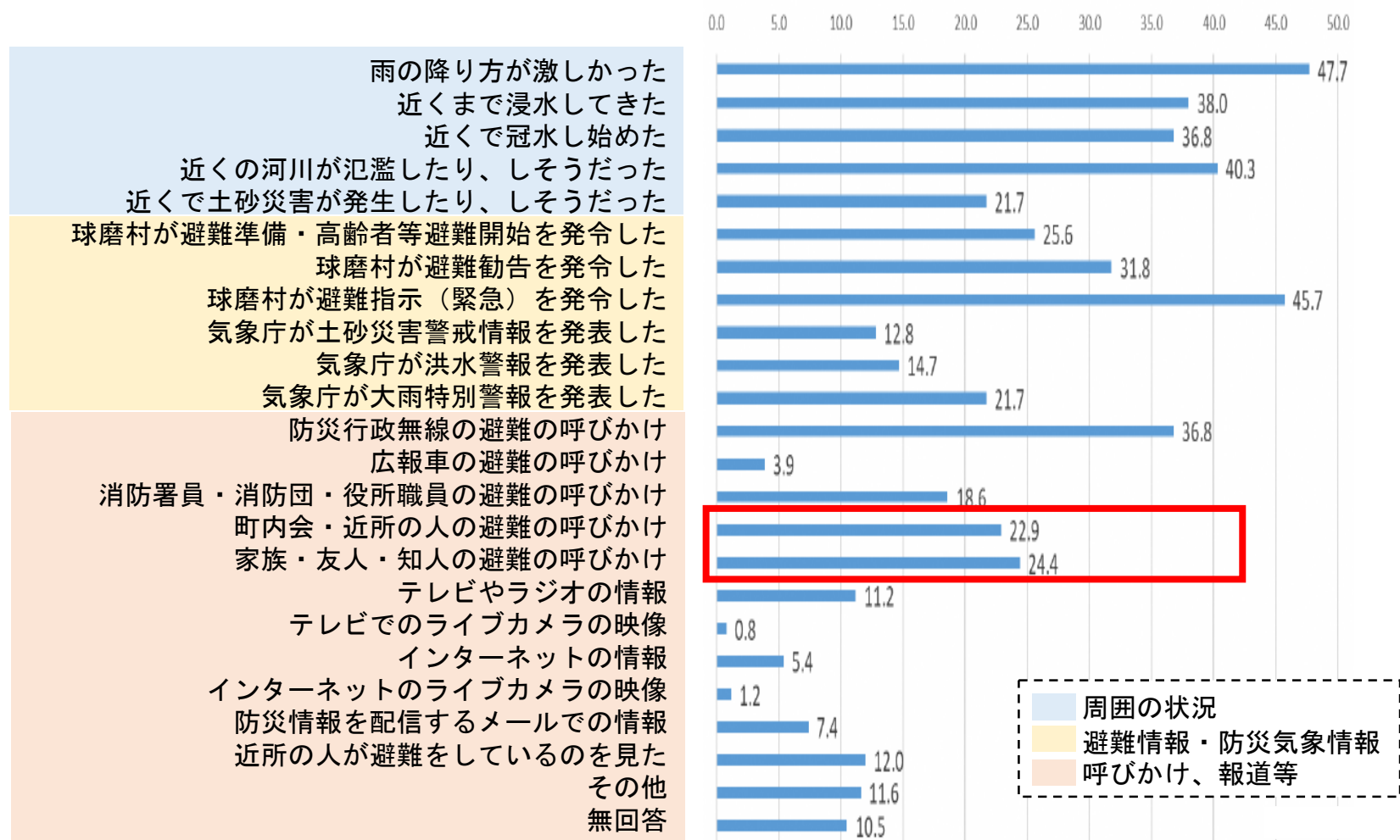


令和2年7月豪雨の被災地における住民アンケート結果

調査対象：球磨村在住の全住民
調査期間：2021年1月7日～2月22日
n=629（配布数：1,099人、回収率：57.2%）

問：自宅外への避難を考えた「きっかけ」は何ですか（複数回答可）

n=258



出典：「球磨村住民アンケート 集計・分析結果」（令和3年5月）
（球磨村、CeMI 環境・防災研究所）



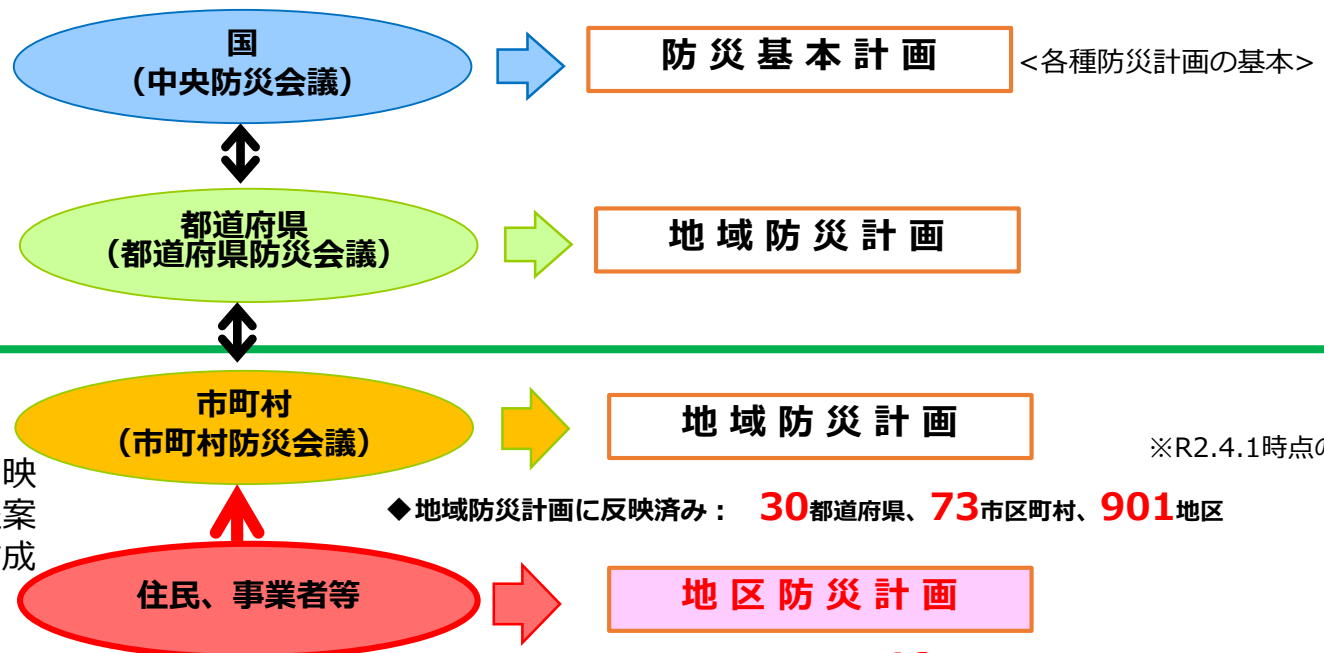
地区防災計画制度とは、

1. 地区で取り組む「共助」（及び「自助」）の取り組みを「地区防災計画の素案」として具体化する
2. 作成された「地区防災計画の素案」を、市町村の「地域防災計画」に反映し、地区における「共助」（及び「自助」）の取り組みと市町村の「公助」の取り組みを連携させる

地区防災計画制度の概要②



- 地域住民が自発的に防災計画を作成する活動を応援するため、災害対策基本法が改正され、平成26年4月から「地区防災計画制度」が開始。
- 住民等が地区の防災計画を作成し、市町村へ提案できる計画制度。(平成26年4月1日施行)



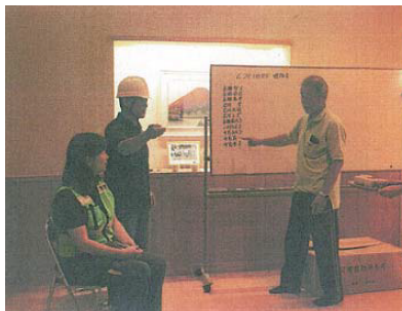
地区防災計画の内容の例

①平常時	②災害警戒時	③応急対策時	④復旧・復興時
<ul style="list-style-type: none"> ● 防災訓練、避難訓練連絡体制の整備、避難路・避難所の確認 ● 要配慮者の保護等地域で大切なことの整理 ● 食料等の備蓄 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報収集・共有・伝達 ● 避難判断、避難行動等 ● 住民の所在、安否確認 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 率先避難、避難誘導、避難の支援 ● 物資の仕分け・炊き出し ● 避難所運営、在宅避難者への支援 <p>など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 被災者に対する地域コミュニティ全体での支援 <p>など</p>



小グループ避難体制の検討により広がった自主避難の動き

小坂町落合地区（岐阜県下呂市）



平成 30 年 7 月豪雨時の避難所の状況

- 毎年の防災訓練が本当に役立つのかとの疑問等があり、地区の中でワークショップ形式で話し合いを続ける中で、地区防災計画のポイントを「避難訓練」に絞った。
- 小グループとリーダーを決め、避難の声かけができる体制を築き、新しい避難体制について各組の組長が全世帯を回って周知した。
- このような活動を踏まえ、平成 30 年 7 月豪雨時は多くの方が自主避難した結果、地域住民は全員無事だった。

【平成 28 年度地区防災計画モデル地区】アドバイザー：兵庫県立大学 阪本准教授



住民同士で声を掛け合い、早期避難

長沼地区（長野県長野市）



平成 30 年 7 月豪雨時の避難所の状況

- 長沼地区は過去に度々水害に見舞われており、住民が主体となって防災訓練や防災マップ作り、地区防災計画づくりにも取り組んでいた。
- 令和元年東日本台風の際は、地区内の各区長が集まり高齢者の避難を決定し、地域ごとの名簿をもとに電話と訪問により避難の呼びかけを徹底した。
- 長沼地区津野では、足腰の弱い高齢者ごとに担当を決めて誘導する仕組みが活き、避難行動要支援者を避難させることができた。

【平成 27 年度地区防災計画モデル地区】アドバイザー：跡見学園女子大学 鍵屋教授

（朝日新聞『何度も水害 避難支え合うルール 長野・千曲川地域 浸水地区「私はあなたの足」高齢者運ぶ」(2019年10月23日朝刊)より）

地区防災計画に関する内閣府の支援①



「地区防災計画フォーラム」の開催 (平成26年度～)

<目的>

- ・地区防災計画の事例や経験を共有することにより、地区防災計画の作成を促進することを目的に、内閣府が開催するフォーラム

【地区防災計画フォーラム2021】

テーマ：「防災からはじまるコミュニティづくり」

開催日時(開催形式)：令和3年2月14日(オンライン)

参加者数：641名(最高同時視聴者数)

プログラム(登壇者)

- ・開会挨拶(内閣府防災担当大臣、熊本県、熊本市)
- ・内閣府講演「防災からはじまるコミュニティづくりに向けた地区防災計画の活用」(内閣府)
- ・事例紹介「災害経験地からの地域防災の取組」
(熊本県荒尾市／熊本市秋津校区防災連絡会／熊本大学)

→ 平成28年の熊本地震を踏まえた地区防災計画の作成や令和2年7月豪雨の被災地における地区防災計画の取組について発表

・パネルディスカッション

「災害を経験した地区における地区防災の主体の取組、その支援者の役割」

(コーディネーター：加藤 東京大学教授)

コメンテーター：鍵屋 跡見学園女子大学教授

パネリスト：愛媛県松山市高浜地区自主防災連合／岡山県／福岡県朝倉市／熊本大学／防災科学技術研究所)

→ 近年、災害を経験した地域の有識者に集ってもらい、「行政からの支援の在り方」「第三者的な支援の在り方」「要支援者対策における地区防災計画の可能性」について議論



地区防災計画フォーラム2021のパネルディスカッション

地区防災計画を推進する自治体ネットワーク「地区防'z」 (平成31年3月～)

<目的・活動>

- ・地区防災計画の作成支援に取り組む自治体職員が、より日常的に計画作成時の課題等についての情報交換や経験の共有を行うためのプラットフォームとして設置し、適宜勉強会を実施している
- ・<登録者数(令和3年3月末 現在)>
316人・団体(38都道府県、201市区町村)

【地区防'z オンラインミーティング2021】

目的：地域で防災活動を促進し、地区防災計画の作成を推進するために、どのような取組がなされているのか。現場の悩みの共有とともに、役所全体での関わり方を議論し、今後の防災活動や地区支援のきっかけとするために開催。

開催日時(開催形式)：令和3年3月19日(オンライン)

プログラム

・基調講演

「行政職員が地域の防災活動を盛り上げる事例」
(鍵屋 跡見学園女子大学教授)

・事例発表

地域運営組織による防災の取組(札幌市)

地区防災スタッフによる地域防災活動の促進と課題(箕面市)

防災担当と福祉担当が連携する講習会の実施(岡山県)

・ブレイクアウトセッション

課題1：講演と事例を踏まえて次年度
やってみたいこと

課題2：異動した場合に、地域防災に
関わっていくために

・全体討議



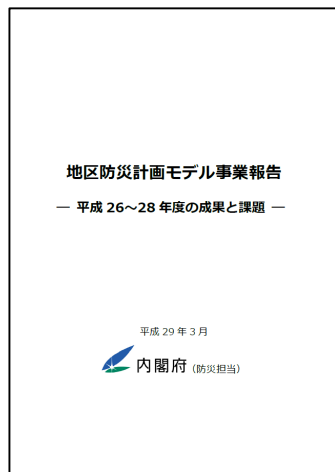
地区防'z オンラインミーティング2021

地区防災計画に関する内閣府の支援②



地区防災計画ガイドラインなどの作成 (平成26年3月～)

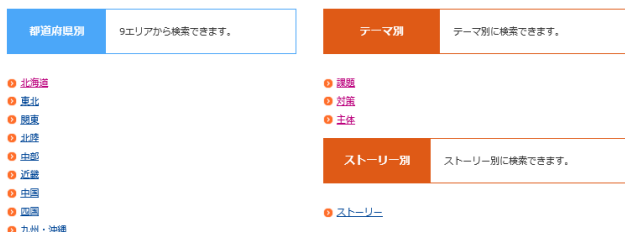
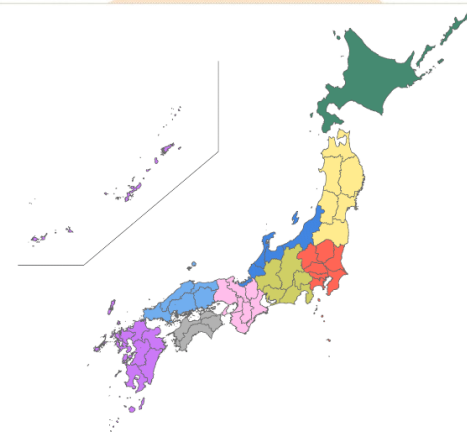
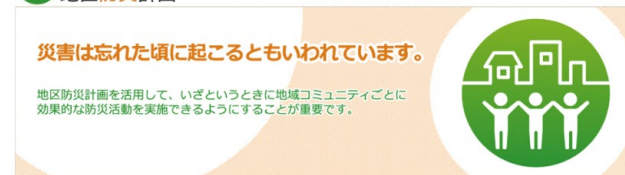
- ✓ これから地区防災計画の作成を検討している地区居住者等に対して、地区防災計画を作成するための手順や方法、計画提案の手續等について説明する「地区防災計画ガイドライン」を平成26年3月に策定
- ✓ 地区防災計画制度を普及するため、平成26～28年度に地区防災計画の作成に取り組む「地区」をモデル地区として計44ヶ所選定し、専門家をアドバイザーとして派遣する等様々な支援を実施した。これらの多様な事例から得られた教訓・ノウハウ等をまとめた「地区防災計画モデル事業報告」を平成29年3月に作成
- ✓ 自治体職員が地区防災計画をより理解し、地域住民・事業者等による地区防災計画の素案作成の取組を支援できるように、自治体職員の支援を進める上での悩みに対し、事例等を基に対応方策を示す「地区防災計画の素案作成支援ガイド」を令和2年3月に作成



地区防災計画ガイドライン: <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/pdf/guideline.pdf>
地区防災計画モデル事業報告書: <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/pdf/houkokusho.pdf>
地区防災計画の素案作成支援ガイド: <http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/pdf/sienguide.pdf>

「地区防災計画ライブラリ」の構築 (平成31年4月～)

- ✓ 地区防災計画の作成に向けた活動を促進するため、地域防災計画に反映された地区防災計画のうち181事例の計画内容(対象とした課題、対策、取組主体)別に分類し、内閣府HPで一覧できるライブラリ



<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/chikubousai/chikubo/chikubo/index.html>

地区防災計画の支援事例（内閣府モデル事業）



平26年度:15地区

平27年度:22地区

平28年度:7地区

平30年度:8地区

令元年度:18地区

令2年度:8地区

令3年度:4地区

- 潮曲利連合自治会
- 中之町下町町内会
- 養田南町内会
- つく米地区
- 城西地区
- 東栗坂地区
- 川辺地区
- 二番丁地区
コミュニティ協議会 ★
- 大塚製菓工場と
周辺自主防災会
- 宇品西地区
- 中島地区
- 金栄校区
- 五明地区
- 高浜地区
- 向山校区
- 秋津校区
- 上大河平地区
- 長江地区
- 福瀬地区
- 謝苅地区
- 美浜地区

- 芳野町地区と
大阪府立吹田支援学校
- 戒西地区
- 中山五月台中学校区
- 真陽小学校区
- 近江台区
- 宮の森区
- 俵山地区

- 東区元町まちづくり連合会
- 笈ヶ島地区
- 東神田3丁目地区
- 長沼地区
- 下諏訪町第1区 ★
- 下諏訪町第2区 ★
- 小坂町落合地区
- 三木地区自主防災会 ★
- 吉崎地区
- 中原地区

- 小熊町新生町14自治会
- なでしこ地区
- 千種区大和学区
連絡協議会
- 布土区 ★
- 南区星崎学区 ★
- 神山連区 ★
- 香良洲町地区 ★
- 美杉町丹生俣地区 ★

- 厚真町
- 岩井第二地区
- 城島地区
- 大手町・丸の内・有
楽町地区

- ウト口地区
- 新浜地区
- 安渡地区 ★
- 上釜地区
- 片平地区
- 桑折町半田地区
- 六美地区 ★
- 中駒地区
- 筑波山麓地区
- トピア管理組合
- 高木町自治会 ★
- 本多連合町会 ★
- SYM三町会災害連合会
- 米本団地
- 川崎区水江町
- 川崎区扇町
- よこすか海辺ニュータウン
防災センター自主防災会 ★
- 岩原及び沼田地区
- 戸田地区
- 富士駅南地区 ★
- 修善寺ニュータウン
- 土肥地区
- 葵区上足洗三丁目
- 藤川西部地区
- 矢作北学区 ★

- 富美山地区

- 下知地区
- 文里地区
- 四村地区
- 平城第2団地
- 伊良部南地区
- 池間地区